

第1回小金井市気候市民会議概要資料

○第1回小金井市気候市民会議の目的

気候変動の問題や小金井市の現状について事前学習を行い、気候変動について理解を深めていただいたうえで、市民の皆さんから小金井市の課題について意見交換をしていただくことを目的としています。

○本日のスケジュール

- 13:00～ 受付
- 13:30～ 小金井市気候市民会議開会宣言（小金井市長 白井 亨）
- 13:35～ 気候市民会議の概要
- 13:40～ 気候変動問題の現状と将来、その対策（法政大学名誉教授 田中 充 氏）
- 14:10～ 小金井市の現状
- 14:30～ 休憩
- 14:35～ グループワークの説明
 - 14:40～ 1 ターム目：テーマ1「再エネ、省エネにおける市の課題」 【15分】
 - 14:55～ 2 ターム目：テーマ2「まちづくり、ごみ、交通における市の課題」 【15分】
 - 15:10～ 3 ターム目：テーマ3「環境教育、参加協働における市の課題」 【15分】
 - 15:25～ 4 ターム目：グループ意見の取りまとめ 【15分】
- 15:40～ 休憩
- 15:45～ グループ意見の総括（グループ発表）【各グループ 5分】
- 16:15～ フィールドワーク
- 16:25～ 第2回小金井市気候市民会議の説明
- 16:30 ワークショップ終了

○本日の配布物

・資料 ・名札 ・ペン ・付箋

○講師の先生のご紹介

法政大学 名誉教授 田中 充 先生

専門は環境政策論。1952年生まれ、東京大学理学部・同大学院理学系研究科修了、理学修士。川崎市勤務を経て2001年4月より法政大学社会学部教授、2014～2015年度同社会学部長。環境アセスメント学会会長、中央環境審議会委員の他、東京都、神奈川県などの環境審議会委員を務める。主な著書に『気候変動に適応する社会』（技報堂）、『地域からはじまる低炭素・エネルギー政策の実践』（ぎょうせい）など。



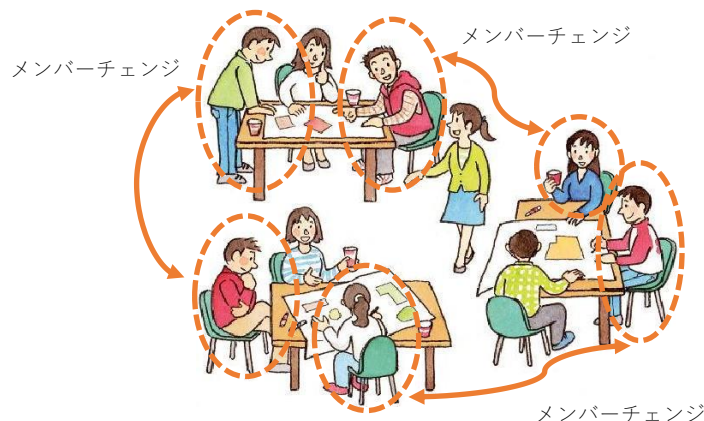
○グループワークについて

●ワールドカフェ方式とは

5人程度の少人数の発言しやすい空間で自由な対話することで、全員の発言の機会が増え、互いの話をよく聞き、より深い話し合いができます。また、グループのメンバーを入れ替えることで、多くの参加者と意見交換することができ、新しいアイデアが生まれやすくなります。

●気を付けること

- ・対話を楽しむ
- ・話をよく聞く
- ・否定せず、受け入れる
- ・断定せず、押し付けない
- ・質問して広げる
- ・無理に結論をまとめようとするしない



●手順

1 ターム目

テーマについて
アイデアをだす

- ・タームごとにトークテーマを設けます。
- ・テーマについて自由に意見を出し合います。
- ・テーブルの中央にテーマを書き、話したこと、感じたことなどを書き留めます。
- ・15分経過したら、別のテーブルに移動します。

2 ターム目

多くのアイデア
とふれあう

- ・進行役が前タームで話し合われたことを簡単に説明し、新しいメンバーと共有します。
- ・テーマについて自由に対話し、アイデアを書き留めます。
- ・15分経過したら、まだ行っていないテーブルに移動します。

3 ターム目

多くのアイデア
とふれあう

- ・2ターム目と同様。
- ・15分経過したら、各自1ターム目のテーブルに戻ります。

4 ターム目

アイデアを
統合する

- ・お互いに別のテーブルの対話での気づきや感じたこと、新しいアイデア等を共有します。
- ・発表に向け、これまでの意見を簡単にまとめます。ひとつに結論づける必要はありません。

発表

- ・テーマごとのアイデアを全体で共有します。